

坂井地区の高校再編について

高校再編の基本的な考え方

坂井地区の高校入学者が平成38年には平成元年時の約半数まで減少が見込まれることから、適正な学校規模を確保し、高校教育を充実していく観点から、春江工業高校と坂井農業高校を中心として、地区内の職業系学科を集約した総合産業高校を新たに設置する。

校地は、敷地の規模や農業実習施設である山室農場への移動負担、生徒の通学の利便性等を考慮し、坂井農業高校とする。

春江工業高校の校舎・敷地等については、当面、春江工業高校の在校生や総合産業高校の教育施設として活用する。

金津高校、三国高校を普通科系単独校とし、丸岡高校を含めて地区の進学体制を強化する。また、当地区の普通科の定員比率を引き上げる。総合産業高校の魅力を高め、地域の特性や時代のニーズに応じた特色ある職業教育を推進する観点から、カリキュラムの見直しや実践教育の推進、資格取得の促進を図る。また、生徒が自分の専門科目をさらに深めたり、他学科の専門科目や普通科目を選択できる総合選択制を導入し、進学を含む多様な進路希望に柔軟に対応する。

現状(H24)

普職比率 = 62:38

[定員888人 普通科系547人 職業系341人]
()は学級数、人数は定員

再編後(H26)

普職比率 = 68:32 [想定定員 870人 (普通科系590人 職業系280人)]

普通科系高校

金津高校	普通科(7) 情報コース等を検討	220人
丸岡高校	普通科(5)	170人
三国高校	普通科(6)	200人

職業系高校

総合産業高校 (8) 280人	【商業、家庭系】 70人 ビジネス・生活デザイン科(2)
	【工業系】 140人 工業技術科(4) <small>・機械コース ・自動車コース ・電気・情報コース</small>
	【農業系】 70人 農業科学科(2)

各校の()は学級数、定員は仮置き、
学科名は仮称

ポイント

- ・進路別・選択教科別クラス編成や専任教諭の配置を進め、幅広い進学ニーズに対応
- ・中高一貫コースや特別進学コースを強化し、難関大学等への進学に対応

ポイント

- ・学校規模を拡大することにより、部活動や文化祭、体育祭など、学校活動を活性化
- ・職業系学科の統合により、採用情報の収集や求人開拓を幅広く行い、生徒への就職指導体制を強化
- ・地区内の農業経営体やものづくり企業、テクノポート立地企業、工業技術センター、園芸振興センター等との連携により、実践的な職業教育を展開
- ・学科連携により、農場での収穫から商品の企画、加工、PR、販売等、よりリアルなビジネス体験プロジェクトを実施
- ・山室農場を農業実習施設としてだけでなく、農業体験を通じた人間形成や自然環境学習の場と位置付け、全生徒で活用

金津高校(8) 266人	普通科(6)	194人
	経理科(1)	36人
	情報処理科(1)	36人
丸岡高校(5) 163人	普通科(5)	163人
三国高校(6) 222人	普通科(5)	190人
	家政科(1)	32人
坂井農業高校 (3) 93人	生産技術科(1)	31人
	食品科(1)	31人
	環境システム科(1)	31人
春江工業高校 (4) 144人	機械科(1)	36人
	自動車科(1)	36人
	電気科(1)	36人
	情報システム科(1)	36人